

令和3年度

筑波大学東京キャンパス

社会人のための夜間大学院



人文社会ビジネス科学学術院

Graduate School of Business Sciences, Humanities and Social Sciences

ビジネス科学研究群

Degree Programs in Business Sciences

博士前期課程 Master's Program

経営学学位プログラム(2年)

Master's Program in Business Administration (Two years)

法学学位プログラム(2年)

Master's Program in Law (Two years)

博士後期課程 Doctoral Program

経営学学位プログラム(3年)

Doctoral Program in Business Administration (Three years)

法学学位プログラム(3年)

Doctoral Program in Law (Three years)

専門職学位課程

Professional Degree Programs

法曹専攻/法科大学院(3年)

Law School Program (Three years)

国際経営プロフェッショナル専攻/MBA-IB(2年)

MBA Program in International Business (Two years)

人間総合科学学術院

Graduate School of Comprehensive Human Sciences

人間総合科学研究群

Degree Programs in Comprehensive Human Sciences

博士前期課程 Master's Program

スポーツウエルネス学学位プログラム(2年)

Master's Program in Sport and Wellness Promotion (Two years)

カウンセリング学位プログラム(2年)

Master's Program in Counseling (Two years)

リハビリテーション科学学位プログラム(2年)

Master's Program in Rehabilitation Science (Two years)

博士後期課程 Doctoral Program

スポーツウエルネス学学位プログラム(3年)

Doctoral Program in Sport and Wellness Promotion (Three years)

カウンセリング科学学位プログラム(3年)

Doctoral Program in Counseling Science (Three years)

リハビリテーション科学学位プログラム(3年)

Doctoral Program in Rehabilitation Science (Three years)



筑波大学

人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 経営学学位プログラム【博士前期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「ビジネス科学研究科経営システム科学専攻(博士前期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

特色・領域

経営学とアナリティクスの融合を目指して

情報技術が社会の隅々にまで浸透したことにより、ビジネス環境も大きく変わりつつあります。経営学学位プログラムでは、経営戦略・組織論、マーケティング、会計、ファイナンスなど経営学のコア領域に、現在のビジネスで必須となりつつある統計科学、オペレーションズリサーチ等の数理科学、および人工知能、データマイニング、エージェントベースシミュレーション、知識工学等の情報科学など分析基盤となる領域を加えた幅広い教育を実践しています。

コア領域			
経営	マーケティング	会計	ファイナンス
基盤科学技術			
統計科学	数理科学	情報科学	

教育・研究プログラム

本プログラムのカリキュラムは、各領域の基礎から応用への階層と領域間の関連性を考慮して体系化されていますので、特定の領域を集中的に学習したり、複数の領域を横断的に学習したりするなど、各自の関心やニーズに応じた柔軟な選択が可能です。

修士論文では、学生が考えるビジネス上の課題をテーマとして、コースワークやゼミで修得した理論や技術を活用しながら研究を行います。研究活動を通して、課題の発見から解決までを具体的に経験することで、実践的な思考力や分析力を修得することができます。

教育方法

教育体制

- カスタマイズ教育
修士論文研究の課題に応じたカリキュラム作成を指導教員がサポートします。
- 少人数教育
少人数のクラスとゼミできめ細やかな教育・研究指導を実践しています。
- 短期間での単位取得が可能
各科目(1単位)は、75分×10コマ(週)です。多忙な社会人学生に配慮して、多くの講義は、1日に2コマ分を連続して講義するので、5週間で単位取得が可能です。

研究指導体制

- 教員グループによる指導
主たる指導教員を含む複数人の教員グループが、修士論文研究の指導にあたります。
- ステージ制
「概要発表(研究計画)」「中間発表」「最終発表」などからなるステージ制を導入しています。ステージ毎に達成すべき目標が設定されていますので、修士論文研究の進捗を能動的に管理することができます。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	126 ⑦	36 ①	31
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	100 ⑪	36 ②	31 ②
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	95 ⑬	38 ②	36 ②

○内は、外国人をそれぞれ内数で示す。

修了状況

経営システム科学専攻

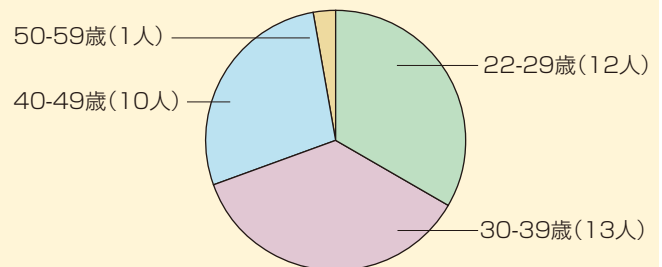
平成30年度	令和元年度	令和2年度
30	26	31

※令和2年度以降入学者の取得学位は「経営学」となります。

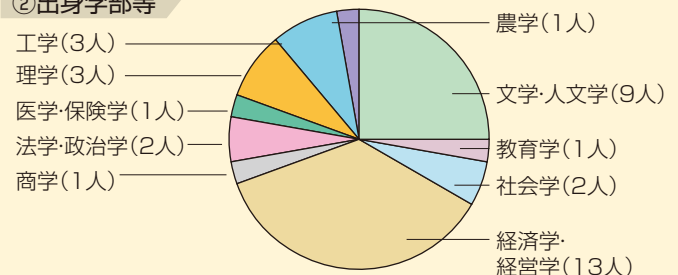
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 36名(男性29名,女性7名)

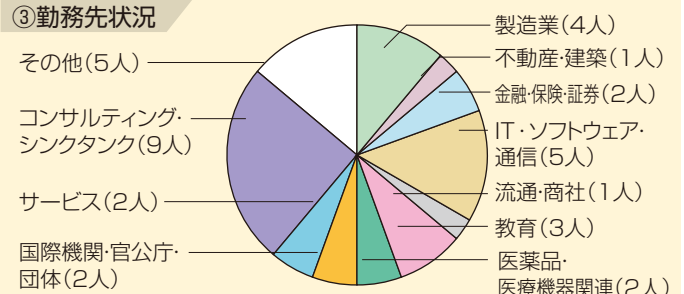
①年齢分布(平均年齢35.4歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 法学学位プログラム【博士前期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「ビジネス科学研究科企業法学専攻(博士前期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/>

特色

現代経済社会においては、企業をめぐる法律問題に関し、高度の専門能力及び、高度な視点からの問題解決能力を有する人材が益々必要になっています。本プログラムでは、独自の教育体制により、専門分野の拡大・深化を通じて、このような企業法学分野における高度専門職業人の養成を図ることを目標としています。

具体的には、法学を学ぶ上で基礎となる文献学や比較法といった共通専門科目に加えて、社会的ニーズと学問的特性にあわせて履修の重点領域を設定した専門コース制の下での重点的・効率的な履修を可能とすることにより、多岐にわたる企業法学分野における高度専門職業能力を効率的に涵養することを目指しています。

領域

専門性を高めるコース選択

学生は自らの興味関心、職業上の必要に応じて、次の5つの専門コースから希望のコースを選択できます。

1. 企業関係法コース
2. 国際ビジネス法コース
3. 知的財産法コース
4. 社会・経済法コース
5. 税法コース

修士論文の作成

問題の焦点を明確に定めて取り組みつつ、各専門分野における教員から指導・アドバイスを受けることで、高い質の研究成果を得ることができます。

教育方法

専門コース制

法学を学ぶ上で基礎となる文献学や比較法といった共通専門科目に加え、上記のとおり、社会的ニーズと学問的特性にあわせて履修の重点領域を設定した専門のコース制の下で、重点的・効率的な履修が可能です。

マンツーマン体制による指導

1年次の春までに、各学生が入学時に研究計画等で示した研究テーマにもっとも近い専門領域の指導教員を決め、各指導教員が学生の指導を個別に行います。科目の履修選択にあたっては、指導教員によるアドバイスも受けながら、各自のニーズに応じた履修計画を作成できます。

修士論文中間報告会

2年次の秋には、学生と教員が原則として全員出席して、研究の進捗状況についての指導と、より上質な修士論文作成に向けての意見交換を行います。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	56	30	25
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
33	49	30	25
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
33	59	28	25

修了状況

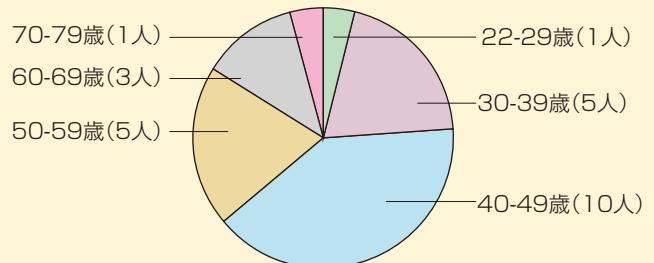
企業法学専攻

平成30年度	令和元年度	令和2年度
31	28	27

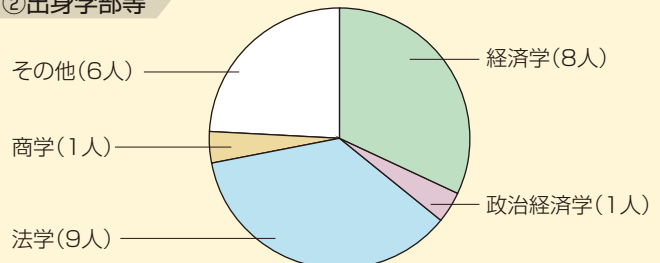
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 25名(男性17名,女性8名)

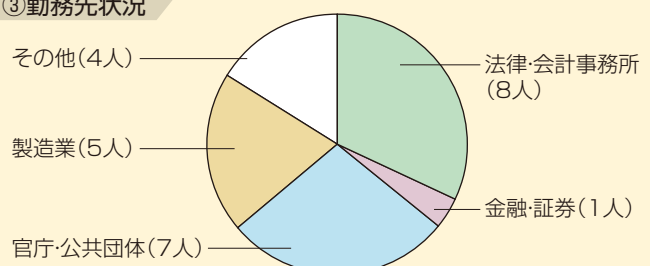
①年齢分布(平均年齢43.9歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 経営学学位プログラム【博士後期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「ビジネス科学研究科企業科学専攻システムズ・マネジメントコース(博士後期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.gssm.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

特色

今日企業は、外においては経済のグローバル化、社会との複雑な利害関係、また内においては柔軟な組織構成、急速に進歩する情報技術の取り込みが求められ、これまでになく複雑かつ高度な『新たな課題』に直面しています。

これらの企業と社会システムの相互作用の中で生じるビジネスの諸問題を研究対象として、20単位のコースワークと6ステージの論文指導によって、有職社会人が博士の学位を取得することを目指すプログラムです。

領域

経営学とアナリティクスの融合を目指して、経営戦略、組織論、マーケティング、会計、ファイナンスなど経営学のコア領域に加え、現在のビジネスにおいて必須となりつつある統計科学、オペレーションズリサーチ等の数理科学、および人工知能、データマイニング、エージェントベースシミュレーション、知識工学等の情報科学など、幅広い領域で専門性の高い教育を実践しています。伝統的な経営学と先端技術を融合することで、ビジネスの諸問題を対象として、分野横断的かつ体系的な経営科学・数理・情報・システム科学の知識・思考にもとづく分析・設計手法を駆使した教育・研究を行っています。

コア領域			
経営	マーケティング	会計	ファイナンス
基盤科学技術			
統計科学	数理科学	情報科学	

教育方法

講義・演習方式のコースワーク(20単位以上)と6ステージの論文指導からなります。博士前期課程において、博士論文の研究に必要な基礎知識を網羅的に学習していることを前提として、コースワークによって博士論文の研究に必要な専門知識をさらに深めることが可能となっています。また、実際の企業経営者による講義に接することも社会人大学院の特徴です。

入学後、指導教員(主指導)を選び、最低2人の副指導とともに(複数指導制)研究指導を受けます。博士論文の作成は、“研究計画”、“サーベイ論文”、“中間論文”等々と続く6ステージを段階的に進むこととなります。各ステージで、指導教員のみならず多くの教員からコメントを得、論文を改訂して行きます。学生の負担は少なくありませんが6ステージを経て完成された博士論文には積極的に博士号を与えています。

1998年に最初の課程博士を送り出して以来、これまで多くの起業家や大学教員を輩出しています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	38	16	15
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
15	35	15	15
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
15	32	14	13

※令和元年度まではシステムズ・マネジメントコースと企業法コースを合わせて23名の定員

修了状況

博士(システムズ・マネジメント)

平成30年度	令和元年度	令和2年度
4	1	2

博士(経営学)

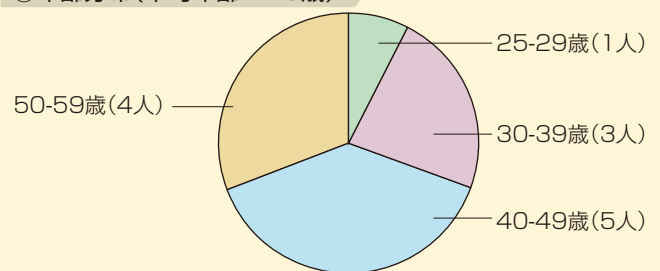
平成30年度	令和元年度	令和2年度
5	5	8

※令和2年度以降入学者の取得単位は「経営学」となります。

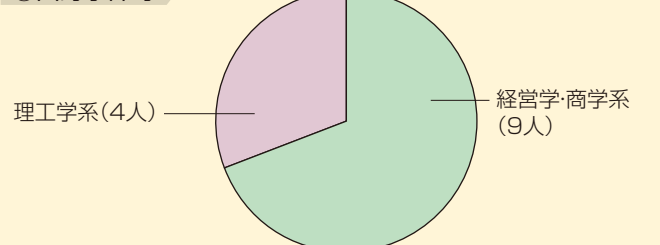
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 13名(男性12名,女性1名)

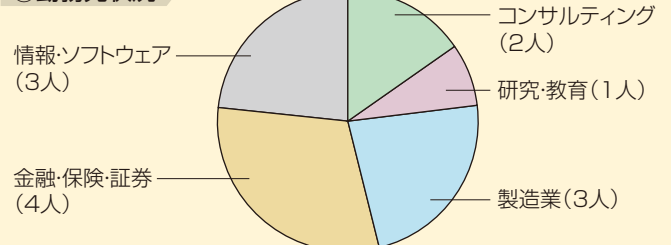
①年齢分布(平均年齢44.3歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人文社会ビジネス科学学術院 ビジネス科学研究群 法学学位プログラム【博士後期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「ビジネス科学研究科企業科学専攻企業法コース(博士後期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.blaw.gsbs.tsukuba.ac.jp/>

特色

今日の企業は、事業活動のグローバル化、社会の高度情報化、価値観の多様化等に伴って、様々な法的課題に直面しており、これらの法的課題の本質を的確に把握し、求められる解決策を提示できる人材の育成が急務になっています。すなわち、実務経験を背景とした広い視野と知識に加えて、法に関する深い専門的知見が必要であり、社会人を対象とした大学院レベルでの高度な法学専門教育へのニーズは益々高まっているといえます。

本プログラムでは、実務と研究の相互作用を重視し、国際的な視野に立って専門の研究分野を深めるという方針の下、外国法に関する研究をベースとしながら、多様な法的課題に対応した研究領域を通じて多角的視点から追求する場を提供します。

領域

主な研究領域は次のとおりです。

- 企業のグローバル化分野
アメリカ法、イギリス法、フランス法、ドイツ法、アジア法、外国会社法、国際租税計画、ドイツ法原典講読、イギリス法原典講読、フランス法原典講読、イタリヤ法原典講読、米国民事訴訟法、ドイツ民事訴訟法、ヨーロッパ外書講読、ドイツ法判例講読、国際取引と国際私法、外国証券法特殊講義、外国資本市場法
- 企業組織と金融分野
現代株式会社法、国際会社法、現代信託法、比較金融法、現代契約法、企業組織再編と法、現代民事金融法
- 情報テクノロジーと企業分野
知的財産法による情報財保護、電子社会と法、現代知的財産法、企業ノウハウと従業員、欧米知的財産法、アメリカ知的財産法、比較知的財産法、知的財産法の現代的課題、外国知的財産法
- 社会・経済法分野
市場経済と競争法、比較労働法の基礎、現代社会保障法

教育方法

共同指導体制

社会人を主な対象とする博士課程であることから、ともすると狭い研究領域に没頭しがちであるので、広い高度の知識と総合的な判断力を有する高度の専門職業人の養成を目標として、指導教員による個別指導に加えて、教員全員による共同指導体制をとっています。また、学生の個別事情に応じて、できる限り弾力的な履修指導が提供されます。

論文作成の進行管理

時間的制約の大きい社会人学生が最終的な研究成果である博士論文を3年間で完成させるためには、当面の目標をはっきりさせつつ順次進んでいく必要があります。そのため、論文作成のステップを明確に細分化して、各ステップごとの指導の区切りをつける意味で定期的に「中間報告会」を開催し全教員による共同指導を実施しています。法学学位プログラム(博士前期課程)と同じように、「問題解決型」の教育を行い、創造的な学問を行うことを目指しています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	14	6	5
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
6	11	8	7
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
6	14	5	4

※令和元年まではシステムズ・マネジメントコースと企業法コースを合わせて23名の定員

修了状況

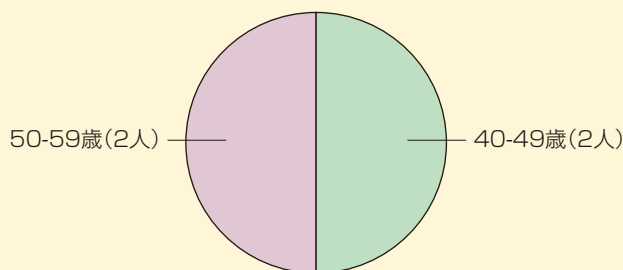
企業科学専攻/企業法コース

平成30年度	令和元年度	令和2年度
3	0	0

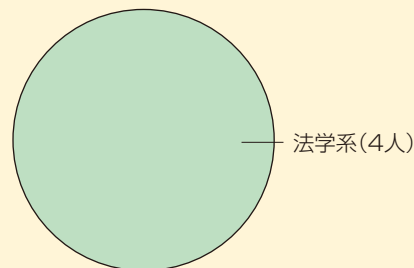
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 4名(男性4名,女性0名)

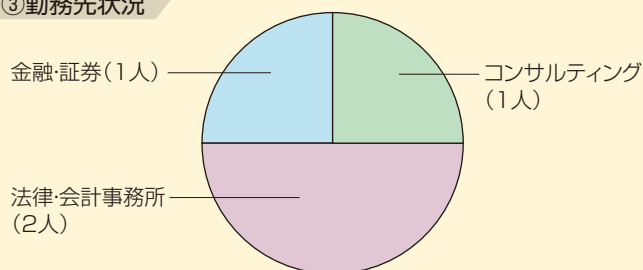
①年齢分布(平均年齢49.4歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人文社会ビジネス科学学術院

法曹専攻〔法科大学院〕〔専門職学位課程〕

Webサイト <https://www.lawschool.tsukuba.ac.jp/>

特色

2004年4月、新しい法曹養成制度がスタートしました。本学も、大学院ビジネス科学研究科(現:人文社会ビジネス科学学術院)におけるこれまでの社会人教育の経験から、多くの社会人が法曹資格を取得できる機会を強く求めていることを実感していました。

2005年4月、本学は、多様なキャリアを持った法曹人の養成、そして社会人のキャリア転換という社会的需要に応えることで、大学院における社会人教育に先鞭をつけてきた本学としての社会的責務を果たすべく、平日夜間及び土曜に授業を行う法曹専攻(法科大学院)を設立しました。

本法科大学院は、社会人のための法曹人養成を目指した夜間開講型の法科大学院です。

教育方法

高度の専門性を有する法曹を養成するために、次のとおり段階的に、確実に能力を獲得することができる、良質なカリキュラムを組んでいます。

1 法的思考の基礎を固めるための「法律基本科目群」

(1)公法、民事法、刑事法の基礎的・体系的知識の獲得と法的思考力の養成「実定法基礎科目」

(2)応用力を高める「実定法発展科目」

2 法律家としての倫理観や専門スキルの基礎を形作る「法律実務基礎科目群」

3 法に関する理解の視野を広げる「基礎法学・隣接科目群」

4 先端的・応用的法分野の専門知識を習得する「展開・先端科目群」などです。

授業は、講義や演習に加えて、模擬裁判など実践的なものまで、いろいろな形式がありますが、プロセスを重視した授業を行います。

当専攻は、法学未修者コース(3年制)と法学既修者コース(2年制)に加え、余裕をもって修学できるように長期履修制度(未修者4年と既修者3年)を用意しています。

法曹専攻専用の自習室は24時間使用可能です。ITを使った学習支援システムも整備されており、自宅・勤務先から法律文献検索や録画授業の視聴が可能です。また、一定回数までであれば、ウェブ会議システムを通じ、出張先等からも授業を受講することができます。さらに、オフィスアワーやチューターを配置することで、学修支援体制を整えております。

教室と同じフロアに併設された法律事務所で行われる「リーガルクリニック」では、フレックスタイム制を採用することにより、時間的制約のある有職社会人でも実務に触れることが可能となっています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
36	170	48	35
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
36	144	46	42
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
36	145	43	39

修了状況

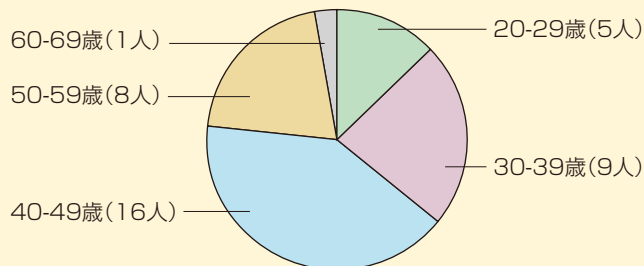
法曹専攻

平成30年度	令和元年度	令和2年度
21	20	24

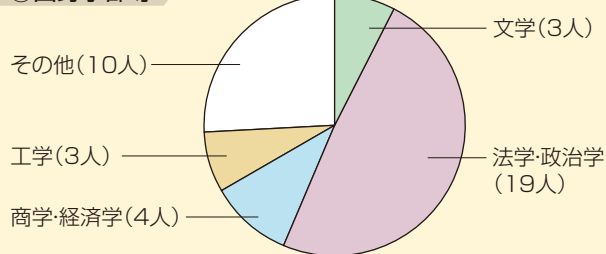
入学者関係データ

令和3年度入学者／39名(男性29名,女性10名)

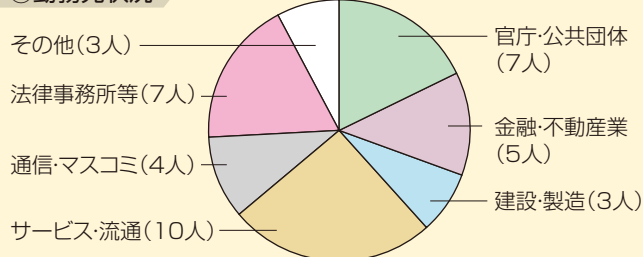
①年齢分布(平均年齢42.7歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人文社会ビジネス科学学術院

国際経営プロフェッショナル専攻【専門職学位課程】

Webサイト <https://www.mbaib.gsbs.tsukuba.ac.jp/>

特色

国際経営プロフェッショナル専攻は、ビジネスの国際化と情報化とに対応可能な、次世代国際経営プロフェッショナルを系統的に育成する専門職大学院（ビジネススクール）として、2005年に開設されました。ビジネス科学研究科が培ってきた社会人教育に特化した教育方法を採用し、ほとんどの科目が英語で実施される実践的カリキュラムとなっています。修了学期には、知識を技能へと進化させる国内外での企業実習科目「ビジネスプロジェクト」を導入しています。

領域

本専攻には、下記のとおり4つの教育領域が設置されています。

- (1) 組織経営領域: 経営目標に基づく効率的な資源配分と目標達成のための組織マネジメント技能を育成
- (2) 事業戦略領域: 競争優位性のある経営戦略を立案・遂行する技能を育成
- (3) 国際対応領域: 国際経営環境における事業運営の技法や異文化理解を促進する技能を育成
- (4) 応用情報領域: 情報収集・分析に基づき情報技術に支援されたプロジェクトマネジメント技能を育成

教育方法

グローバルマネジャーの能力要件となる基礎的技能をコア8科目で網羅し、修了後の多様なキャリアに対応した専門科目をカフェテリア方式で配置しています。

また、3段階のマネジャー行動（問題発見・意思決定・適用）を構成するグローバルリーダーシップ・コンピテンシーを育成するための多様な教育メソッド（①ディベート ②フィールドスタディ ③ディスカッション ④ケースメソッド ⑤論理的思考 ⑥数量分析 ⑦シミュレーション ⑧ロールプレイング ⑨プログラミング ⑩プレゼンテーション）から構成される「国際経営プロフェッショナル人材育成プログラム」が開発され、実務型と研究型教員及び外国人教員と日本人教員とが協力して専門職大学院教育プログラムを実施しています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	90 ^㉓	35 ^㉑	31 ^㉒
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	79 ^㉓	35 ^㉑	29 ^㉒
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
30	94 ^㉓	36 ^㉑	35 ^㉒

○内は、外国人をそれぞれ内数で示す。

修了状況

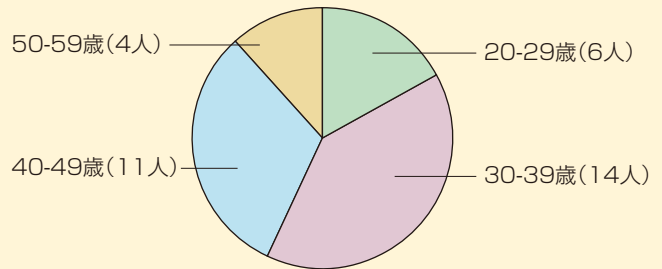
国際経営プロフェッショナル専攻

平成30年度	令和元年度	令和2年度
30	30	22

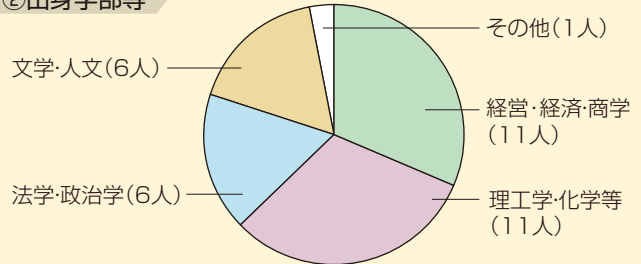
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 35名 (男性23名, 女性12名)

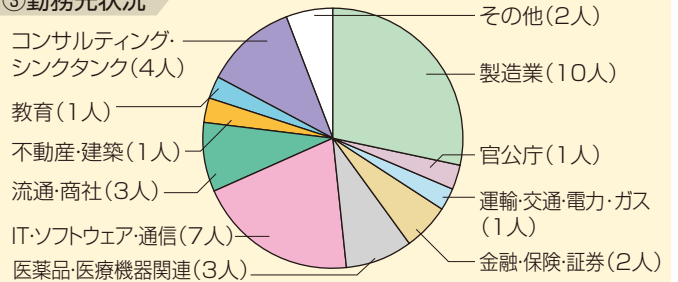
①年齢分布 (平均年齢35.6歳)



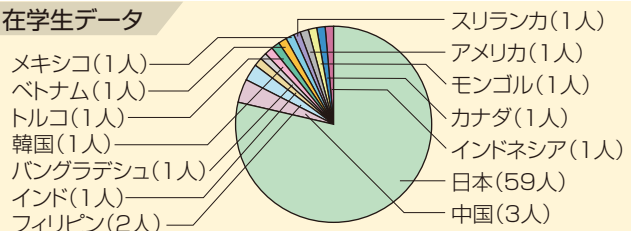
②出身学部等



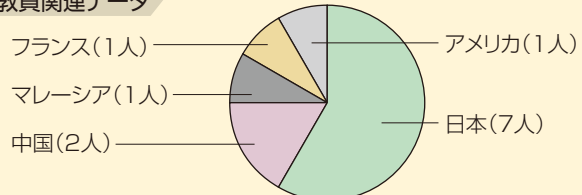
③勤務先状況



在学生データ



教員関連データ



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム【博士前期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科スポーツ健康システム・マネジメント専攻(修士課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報を用いています。

Webサイト <https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

特色

本学位プログラムは、スポーツと健康の相乗的効果を基本理念にして、スポーツプロモーションとヘルスポモーションの2分野で編成されています。スポーツプロモーション分野には、スポーツプロモーション領域と、スポーツマネジメント領域の2領域があり、ヘルスポモーション分野には、ヘルスポモーション領域と、ストレスマネジメント領域の2領域があります。いずれの分野も、現代社会に直結した課題に取り組んでいます。

領域・教育方法

(1) スポーツプロモーション領域

スポーツプロモーション論、スポーツイベント論を中心に、スポーツ推進の理念、目的、内容、課題と方法について検討するとともに、必要な資源とシステムの開発やスポーツによる政治、経済、文化等の社会的プロモーション等について教育研究を行います。

(2) スポーツマネジメント領域

スポーツマネジメント論、高度競技スポーツマネジメント論を中心に、スポーツ愛好者組織とクラブマネジメント、競技スポーツ組織について検討するとともに、国際競技力開発や普及・推進のためのシステム編成とそのマネジメント等について教育研究を行います。

(3) ヘルスポモーション領域

ヘルスポモーション論、健康開発プログラム論を中心に、健康づくりのための政策課題と社会計画のデザイン、地域システムの編成を検討するとともに、多様な社会的環境と生活スタイルに対応した健康開発プログラム等について教育研究を行います。

(4) ストレスマネジメント領域

ストレスマネジメントシステム論、コミュニティメンタルヘルス論を中心に、健康行動としてのストレスマネジメントの在り方や技法とシステム化を検討するとともに、個人をとりまく社会環境要因が個人の健康に影響を及ぼすという視点から、コミュニティメンタルヘルスについて教育研究を行います。

応募状況

令和元年度

入試種別	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	8	22	9	9
一般	16	37	17	16

令和2年度

入試種別	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	8	7	6	6
一般	16	27	18	18

令和3年度

入試種別	募集定員	志願者数	合格者数	入学者数
推薦	8	14	8	7
一般	16	25	17	15

※スポーツプロモーション分野とヘルスポモーション分野を合わせて24名の定員となります。

修了状況

スポーツ健康システム・マネジメント/スポーツプロモーションコース

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育学	13	12	11
保健学	0	0	0

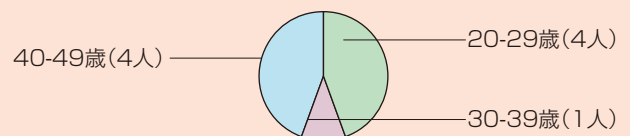
スポーツ健康システム・マネジメント/ヘルスポモーションコース

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
体育学	3	0	0
保健学	9	10	14

入学者関係データ 令和3年度

スポーツプロモーション分野入学者/9名(男性7名,女性2名)

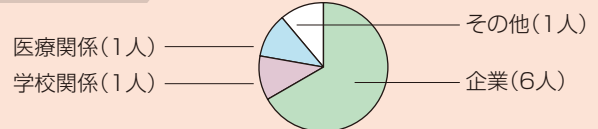
①年齢分布(平均年齢48.2歳)



②出身学部等

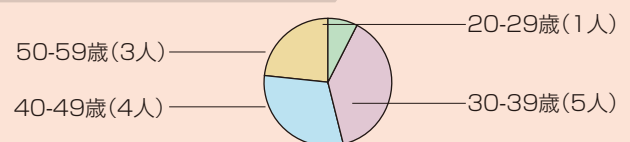


③勤務先状況

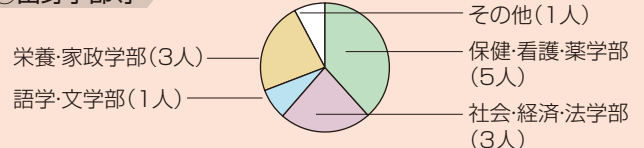


ヘルスポモーション分野入学者/13名(男性3名,女性10名)

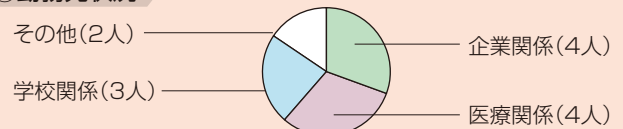
①年齢分布(平均年齢43.6歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 カウンセリング学位プログラム【博士前期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科生涯発達専攻カウンセリングコース(博士前期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.human.tsukuba.ac.jp/counseling/>

特色

本学位プログラムには2つの特色があります。

第1は、カウンセリングを心理療法に限定せず、社会の多様な領域における心理社会的諸問題への予防や支援の活動としてとらえている点です。このため、医療機関等での心理臨床に加えて、企業の人事労務管理や人材育成、学校教育相談や軽度発達障害児への支援、警察や矯正機関での非行相談や矯正教育、高齢者の諸問題への支援など多様な領域でのカウンセリング活動を研究や教育の対象としています。

第2は、リカレント教育の観点から、現実場面での問題解決や社会システムへの提言につながる研究や教育を重視していることです。基礎的な理論研究に加えて、社会における実践に直接かわりながら、研究を立案し、その知見を応用・還元することのできる研究能力を備えた研究者、高度な専門的職業人の育成・再教育を目指しています。

領域

- カウンセリングの歴史や基本的概念、倫理について学びます。
- 家族・福祉・学校・産業・キャリア・医療・司法などの領域における心理社会的な諸問題とその支援について学びます。
- ストレスやコーピング、感情や健康に関する諸理論、精神医学などの心身の健康に関する理解を深め、科学的根拠に基づいた介入について学びます。
- 人間の誕生から生涯にわたる発達過程と発達段階において特徴的な心理社会的諸問題とその支援について学びます。
- 現代社会における様々な問題や組織における諸問題について、国内外の最新の知見を学びます。
- 心理や教育における様々なアセスメントについて学びます。
- 研究方法、心理統計の方法について段階的、実践的に学びます。

教育方法

課程修了に必要な大部分の科目は、1年次に履修できます。2年次以降は修士論文の作成に十分な時間を確保できるような科目編成をしています。授業は、講義形式以外に、事例報告形式、課題討論方式、ロールプレイを含む面接実習など、実際的要求に応えた体験学習も組み入れています。

修士論文研究指導は1年次の3回の構想発表会、2年次の構想発表会、中間発表会を経て最終発表会に至るまで、段階を追って系統的に行われます。

また、修士論文での研究方法は、実験や調査に限定せず、質的研究、事例研究も歓迎しています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	151	25	25
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	133	24	24
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	125	25	25

修了状況

生涯発達専攻/カウンセリングコース

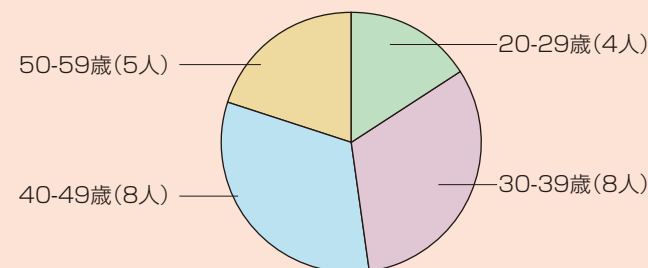
平成30年度	令和元年度	令和2年度
24	23	22

直近3年間の修了者数

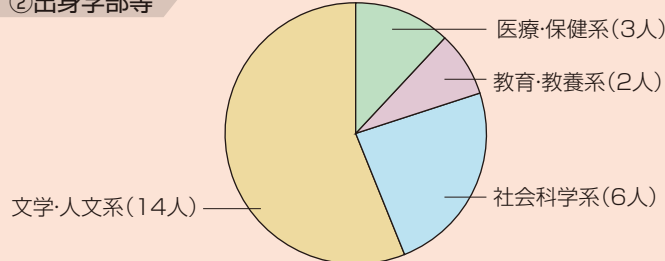
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 25名(男性14名,女性11名)

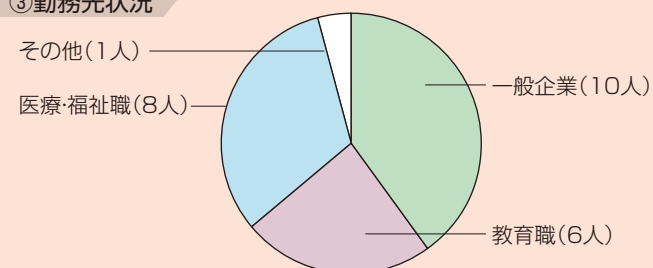
①年齢分布(平均年齢40.3歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 リハビリテーション科学学位プログラム【博士前期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科生涯発達専攻リハビリテーションコース(博士前期課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。

Webサイト <https://www.human.tsukuba.ac.jp/rehabili/>

特色

科学技術の進歩や少子高齢化の進展につれて、障害と共に生きる人が増加しており、高度で包括的なリハビリテーション活動が求められるようになってきました。すなわち、理論的研究とそれに裏付けられた専門的技術・方法の実践、あるいは障害者のライフサイクルの視点に立った地域ケアの実現などが重要です。

本学位プログラムでは、このような高度の専門性を有する研究者および職業人を養成するという基本理念に基づき、リハビリテーション分野における幅広い研究視点の獲得と専門性の深化を図ることを教育目標としています。学生は国際水準の研究知見を学び、実践場面における問題発見・解決能力、研究計画能力や論文作成能力、情報処理能力、ディスカッション能力、プレゼンテーション能力などを系統的に修得することができます。また、リハビリテーションに関わる様々な領域・職種の研究者・専門家との交流を深め、リハビリテーションや障害に関する総合的・包括的な物の見方・考え方・研究手法を学ぶことも目標としています。

領域

- リハビリテーションや障害に関わる歴史、理念、施策、基本的な概念などについての理解を深め、わが国や世界の最新研究動向を学びます。
- リハビリテーションや障害について、医学・教育・社会・職業・心理・工学などの領域別に学習するとともに、視覚障害、聴覚・言語障害、運動障害、知的障害、発達障害、精神障害などの障害別ならびに各種の疾患別にも理解を深め、科学的根拠に基づいた臨床(実践)について学びます。
- リハビリテーションに関わる職種や専門機関について学習し、リハビリテーションにおける連携のあり方を学びます。
- リハビリテーションにおけるアセスメント技法を学習するとともに、生活モデルの視点を踏まえた目標設定やリハビリテーション計画作成の手法を学びます。

教育方法

課程修了に必要な大部分の科目は、1年次に履修できます。2年次以降は修士論文の作成に十分な時間を確保できるような科目編成をしています。授業は、講義形式以外に、事例報告形式、課題討論方式、ロールプレイを含む面接実習など、実際的要求に応えた体験学習も組み入れています。

修士論文研究指導は1年次の3回の構想発表会、2年次の構想発表会、中間発表会を経て最終発表会に至るまで、段階を追って系統的に行われます。また、修士論文での研究方法は、実験や調査に限定せず、質的研究、事例研究も歓迎しています。

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	44	24	24
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	49	23	23
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
23	45	24	24

修了状況

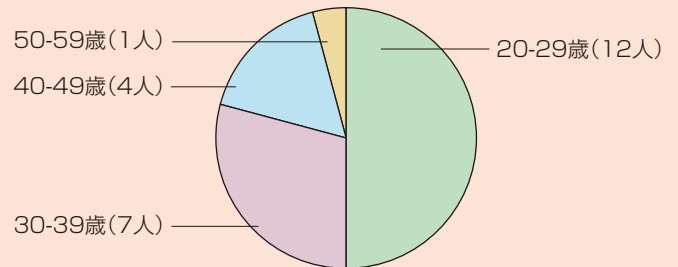
生涯発達専攻 リハビリテーションコース

平成30年度	令和元年度	令和2年度
26	26	23

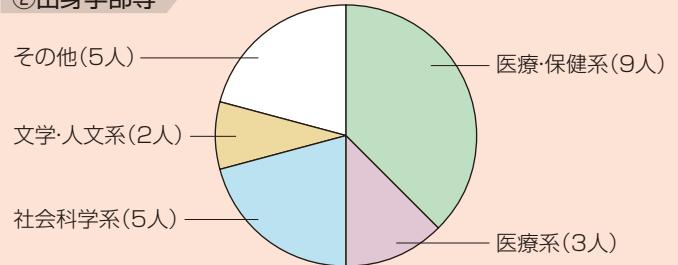
入学者関係データ

令和3年度入学者 / 24名(男性17名,女性7名)

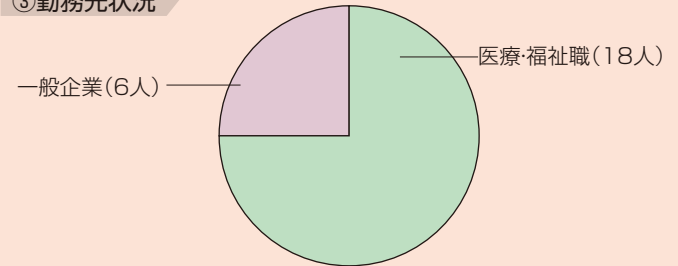
①年齢分布(平均年齢32.6歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 スポーツウエルネス学学位プログラム【博士後期課程】

※本プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科スポーツウエルネス学学位プログラム(3年生博士課程)」に相当します。

過去の応募状況、修了状況については、当該プログラムの情報を用いています。

Webサイト <https://www.shp.taiiku.otsuka.tsukuba.ac.jp/>

特色

本学位プログラムは、社会人を対象としてスポーツウエルネス領域に係る国内外の重要課題解決のために、博士レベルの高度な専門知識を保有した上で、イノベーションが必要な難度の高い課題解決を推進できるマネジメント能力を併せ持つ高度専門職業人を養成することを目的としています。

近年、スポーツウエルネス領域で国際的な活躍をする人々が注目される一方で、多くの課題も見受けられます。例えば、日本の地域あるいは企業等でさまざまな関連施策が成果につながらない要因の一つは、このようなスポーツウエルネス領域におけるより高度な専門性とマネジメント能力を併せ持つ人材が不足していることにあると考えられます。

そこで、本学位プログラムは、日本と世界の未来のために、スポーツウエルネス領域に必要な人材、すなわち、スポーツウエルネスにかかわる諸課題を包括的、組織的に解決する課題解決力およびマネジメント能力を修得した高度専門職業人を育成するという使命を担うために新たに平成28年4月に設立されました。

本学位プログラムを修了し、力をつけた人材が国内外の産学官のさまざまな責任ある立場でリーダーシップを発揮し、周りの高度専門職業人と連携し、イノベーションを起こしていくことが期待されます。

教育方法

(1) 課程を通して修得すべき知識・能力

高度な研究力とマネジメント力を併せ持った高度専門職業人の育成のために、基礎科目、演習のほかに、課題解決型プロジェクトワークを導入し、プロジェクト推進力と解決力を養います。

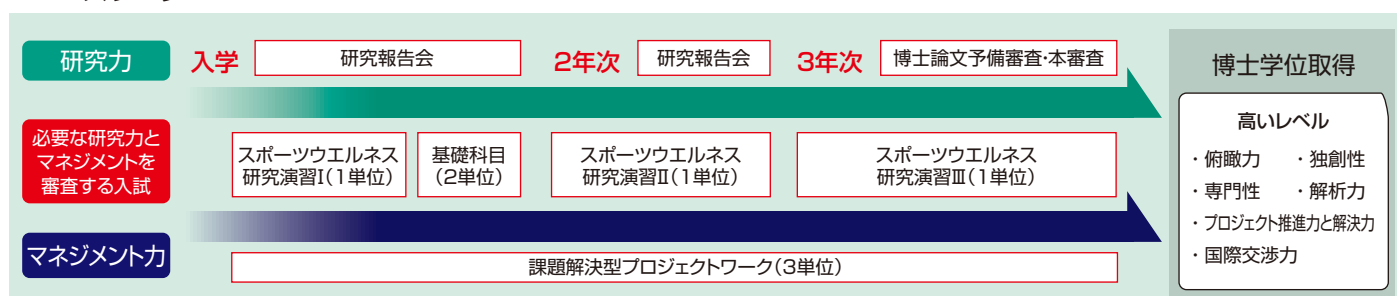
(2) 指導体制

1人の学生に対して3名のアドバイザーグループを設置し、複数指導体制を整えます。

(3) 学位授与のプロセス

各学年で定期的開催する研究報告会にて、次の段階に進めるか否かの合否判定を行います。この合否には、単位の取得、学会発表や研究誌投稿などの達成すべき課題も含めます。これにより、学位授与までのプロセスを明確化にすることで、段階的な研究指導を実現します。

<コースワーク>



(4) 学位授与の方針

筑波大学大学院学則に規定された、博士課程の修了に必要な要件を満たした上で、スポーツウエルネス領域において、以下に示す能力を有することが最終試験によって認定された者に学位(博士(スポーツウエルネス学))を授与します。

- ① 高度な課題解決力の向上を支える研究力とマネジメント力
- ② 俯瞰的な視野と柔軟な思考力
- ③ 様々な領域の人材とチームを組んで課題を解決する能力
- ④ 最先端の研究技法を駆使して、グローバルなレベルで問題解決できる能力

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
若干名	3	1	1
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
若干名	8	4	4
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
3	5	3	3

修了状況

スポーツウエルネス学学位プログラム

令和元年度	令和2年度
2	1

※令和元年度までは、スポーツウエルネス学学位プログラムのデータです。

人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 カウンセリング科学学位プログラム【博士後期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科生涯発達科学専攻(博士後期課程)」に相当し、令和2年度から以下の2つの学位プログラムに分かれました内の一つになります。

- ・人間総合科学学術院人間総合科学研究群カウンセリング科学学位プログラム【博士後期課程】
- ・人間総合科学学術院人間総合科学研究群リハビリテーション科学学位プログラム【博士後期課程】

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報を用いています。 Webサイト <https://www.human.tsukuba.ac.jp/lifespan/>

特色

本学位プログラムでは、生涯発達における諸課題を包括的、組織的に解決する研究者、および高度専門職業人を育成し、個人次元から組織・社会次元までを包括したカウンセリング科学の構築を目指しています。臨床実践を行いながら生成した問題意識を科学的研究で検証し実践する科学者—実践家モデル(Scientist-Practitioner model)に基づいて、心理・医療・保健・社会・福祉・教育などの多領域において、生涯発達の各人生段階で遭遇する課題について、学術的視点で組織的な解決を導く研究者、大学教員、および研究能力を備えた高度専門職業人などの養成を図ることを目標とします。そこで、現職職業人の見識と経験を基盤とした、専門的理論の構築や、独創的で先進的な研究知見の創出、臨床実践の実証、国際的な視野での学際的な研究プロジェクトや組織マネジメントの遂行、社会貢献などの業績を重視します。さらに、標準年限での学位取得をめざして1年次から系統的な研究段階を設けて研究指導を行い、全教員により各段階での審査・単位認定を行い、履修単位により博士(カウンセリング科学)の学位を授与します。研究の進捗によっては早期履修制度があります。

領域

主たる研究領域はカウンセリング科学領域ですが、共通基礎科目としてカウンセリング科学基礎論、カウンセリング演習、カウンセリング科学特論の必修科目を設けています。

教育方法

コースワーク・リサーチワーク複合型履修モデル

円滑な学位取得を実現するため、社会人学生のワーク・スタディバランスを考慮したコースワーク・リサーチワーク複合型の履修モデルを設定して、体系的な修学プロセスのマネジメントを行います。

コースワーク制

研究課題の進捗と、系統的な履修のために6段階のコースワークを設定し、論文作成指導、学位論文審査等を有機的に関連づけた研究指導体制を設けています。

修了までのプロセス(例)

時期	1年次		2年次		3年次	
	7月	2月	7月	12月	5月	12月
段階	研究計画 発表	文献研究 発表	研究経過 報告	中間 発表	研究経過 報告	博士論文 提出

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
6	27	8	8
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
4	14	4	4
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
4	14	4	4

修了状況

生涯発達科学専攻

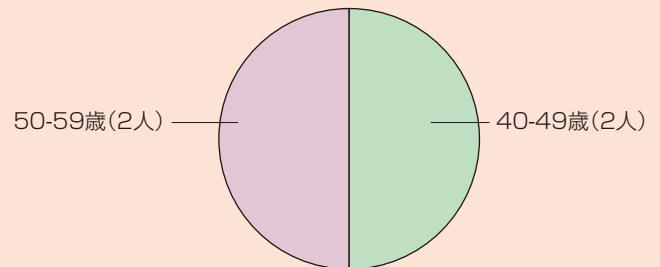
平成30年度	令和元年度	令和2年度
7	6	9

直近3年間の修了者数

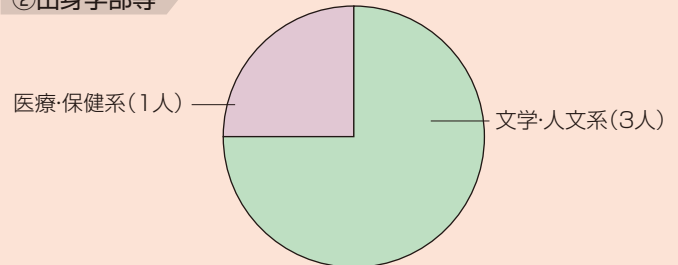
入学者関係データ

令和2年度入学者／4名(男性1名,女性3名)

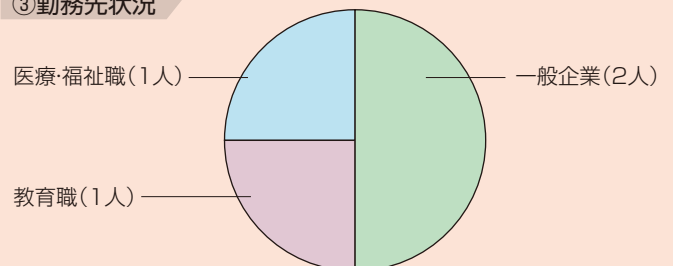
①年齢分布(平均年齢49.0歳)



②出身学部等



③勤務先状況



人間総合科学学術院 人間総合科学研究群 リハビリテーション科学学位プログラム【博士後期課程】

※本学位プログラムは、令和元年度以前の「人間総合科学研究科生涯発達科学専攻(博士後期課程)」に相当し、令和2年度から以下の2つの学位プログラムに分かれました内の一つになります。

- ・人間総合科学学術院人間総合科学研究群カウンセリング科学学位プログラム【博士後期課程】
- ・人間総合科学学術院人間総合科学研究群リハビリテーション科学学位プログラム【博士後期課程】

過去の応募状況、修了状況については、当該専攻の情報をういています。 Webサイト <https://www.human.tsukuba.ac.jp/lifespan/>

特色

本学位プログラムでは、生涯発達における諸課題を包括的、組織的に解決する研究者、および高度専門職業人を育成し、個人次元から組織・社会次元までを包括したリハビリテーション科学の構築を目指しています。臨床実践を行いながら生成した問題意識を科学的研究で検証し実践する科学者—実践家モデル(Scientist-Practitioner model)に基づいて、心理・医療・保健・社会・福祉・教育などの多領域において、生涯発達の各人生段階で遭遇する課題について、学術的視点で組織的な解決を導く研究者、大学教員、および研究能力を備えた高度専門職業人などの養成を図ることを目標とします。そこで、現職職業人の見識と経験を基盤とした、専門的理論の構築や、独創的で先進的な研究知見の創出、臨床実践の実証、国際的な視野での学際的な研究プロジェクトや組織マネジメントの遂行、社会貢献などの業績を重視します。さらに、標準年限での学位取得をめざして1年次から系統的な研究段階を設けて研究指導を行い、全教員により各段階での審査・単位認定を行い、履修単位により博士(リハビリテーション科学)の学位を授与します。研究の進捗によっては早期履修制度があります。

領域

主たる研究領域はリハビリテーション科学領域ですが、共通基礎科目としてリハビリテーション科学基礎論、リハビリテーション科学演習、リハビリテーション科学特論の必修科目を設けています。

教育方法

コースワーク・リサーチワーク複合型履修モデル

円滑な学位取得を実現するため、社会人学生のワーク・スタディバランスを考慮したコースワーク・リサーチワーク複合型の履修モデルを設定して、体系的な修学プロセスのマネジメントを行います。

コースワーク制

研究課題の進捗と、系統的な履修のために6段階のコースワークを設定し、論文作成指導、学位論文審査等を有機的に関連づけた研究指導体制を設けています。

修了までのプロセス(例)

時期	1年次		2年次		3年次	
	7月	2月	7月	12月	5月	12月
段階	研究計画発表	文献研究発表	研究経過報告	中間発表	研究経過報告	博士論文提出

応募状況

令和元年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
6	27	8	8
令和2年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
4	7	4	4
令和3年度			
定員	志願者数	合格者数	入学者数
4	9	4	4

修了状況

生涯発達科学専攻

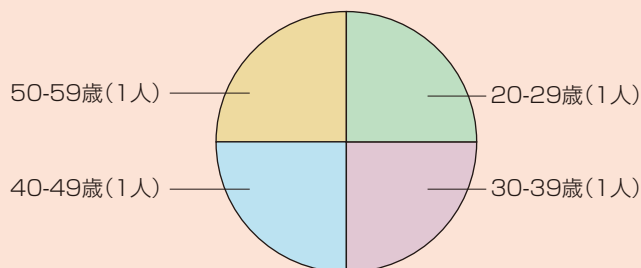
平成30年度	令和元年度	令和2年度
7	6	9

直近3年間の修了者数

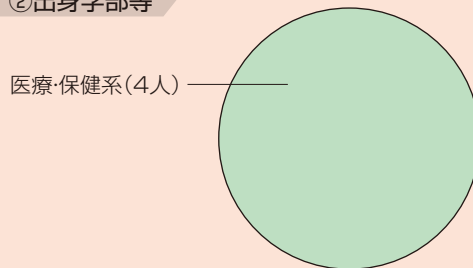
入学者関係データ

令和2年度入学者／4名(男性1名、女性3名)

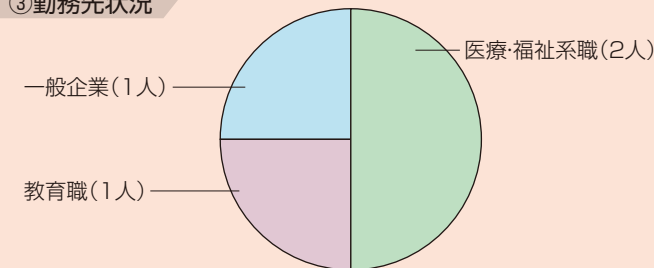
①年齢分布(平均年齢37.5歳)



②出身学部等



③勤務先状況



令和4年度 東京キャンパス大学院 募集状況等

募集要項は下表に記載の日程によりWeb上で公開します。平成30年度入学試験から出願方法はWeb入力による出願に変更となりました。(詳細は、募集要項をご確認ください。) オープンキャンパスの開催時間等の詳細についてもWeb上で公開しますので、ご確認ください。

人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学研究群

博士前期課程

学位プログラム	募集定員(社会人)	学 位	入学料(令和2年度例)	授業料(令和2年度例)	その他(経済支援制度)
経営学学位プログラム	30名	修士(経営学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	入学料・授業料免除制度 教育訓練給付金 日本学生支援機構及び 民間団体等奨学金
法学学位プログラム	33名	修士(法学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	

博士後期課程

学位プログラム	募集定員(社会人)	学 位	入学料(令和2年度例)	授業料(令和2年度例)	その他(経済支援制度)
経営学学位プログラム	15名	博士(経営学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	入学料・授業料免除制度 教育訓練給付金 日本学生支援機構及び 民間団体等奨学金
法学学位プログラム	6名	博士(法学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	

専門職学位課程

専 攻	募集定員(社会人)	学 位	入学料(令和2年度例)	授業料(令和2年度例)	その他(経済支援制度)
国際経営 プロフェッショナル専攻	30名	国際経営修士 (専門職)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	入学料・授業料免除制度 教育訓練給付金 ※ 日本学生支援機構及び 民間団体等奨学金 長期履修制度 ★
法曹専攻 (法科大学院)	36名	法務博士 (専門職)	282,000円	前期:402,000円 後期:402,000円	

※は、国際経営プロフェッショナル専攻及び法曹専攻(法科大学院)既修者コースが対象 ★は法曹専攻のみ対象

人間総合科学学術院人間総合科学研究群(東京地区4プログラム)

博士前期課程

専 攻	募集定員(社会人)	学 位	入学料(令和2年度例)	授業料(令和2年度例)	その他(経済支援制度)
スポーツウェルネス学 学位プログラム	24名	修士 (スポーツウェルネス学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	入学料・授業料免除制度 教育訓練給付金 日本学生支援機構及び 民間団体等奨学金 長期履修制度 ★
カウンセリング 学位プログラム	23名	修士 (カウンセリング)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	
リハビリテーション科学 学位プログラム	23名	修士 (リハビリテーション科学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	

★はスポーツウェルネス学学位プログラムのみ対象

博士後期課程

専 攻	募集定員(社会人)	学 位	入学料(令和2年度例)	授業料(令和2年度例)	その他(経済支援制度)
スポーツウェルネス学 学位プログラム	3名	博士 (スポーツウェルネス学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	入学料・授業料免除制度 教育訓練給付金 日本学生支援機構及び 民間団体等奨学金 長期履修制度 ★
カウンセリング科学 学位プログラム	4名	博士 (カウンセリング科学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	
リハビリテーション科学 学位プログラム	4名	博士 (リハビリテーション科学)	282,000円	前期:267,900円 後期:267,900円	

★はスポーツウェルネス学学位プログラムのみ対象

<注意事項>

令和3年(2021年)度を実施する大学院入試は、以下URLのサイトをご確認願います。

令和4(2022)年度筑波大学大学院入試において、新型コロナウイルス感染症拡大等の今後の状況によっては、オンラインで入試を実施する等、入試方法等を変更して実施する可能性があります。

また、入試方法等の変更に伴い、入試日を追加する可能性があります。

入試に関する最新情報は、「大学ホームページ」及び「募集要項サイト」のお知らせ欄にて公表しますので、随時確認してください。

大学院入試スケジュール

<https://www.tsukuba.ac.jp/admission/graduate-overview/>



筑波大学 東京キャンパス

<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>



人文社会ビジネス科学学術院

ビジネス科学研究群

法学学位プログラム(博士前期・博士後期)

経営学学位プログラム(博士前期・博士後期)

法曹専攻

国際経営プロフェッショナル専攻

人間総合科学学術院

人間総合科学研究群 東京キャンパス

カウンセリング学位プログラム(博士前期)

カウンセリング科学学位プログラム(博士後期)

リハビリテーション科学学位プログラム(博士前期・博士後期)

スポーツウエルネス学学位プログラム(博士前期・博士後期)

東京キャンパス社会人大学院では、募集要項をはじめ様々な情報をWeb上で公開しております。

注) 募集要項および過去問題は本Web上においてのみ公開しております。

窓口での個別配布はございません。

<URL>

<https://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/>



<公開情報>

- 募集要項
- 過去問題
- 合格者発表
- 大学院説明会(オープンキャンパス)
- 各専攻・コースのWebページリンク等

【注 意】

メールアドレスは公開しておりません。お問い合わせはWebページの専用フォームからお願いします。



<交通のご案内>

東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷駅」下車・・・徒歩約3分



筑波大学

<お問い合わせ先>

東京キャンパス 社会人大学院(夜間)

筑波大学社会人大学院等支援室教務担当

〒112-0012 文京区大塚3-29-1

電話 03-3942-6918

社会人大学院等支援室(334:文京校舎3階)